

農業由来バイオマスペレット産業化ワーキンググループ キックオフ会議 次第

会期：令和8年8月25日(火)

受付：14:30～

会場：コラッセふくしま 5階特別会議室

福島市三河南町 1-20

福島駅前徒歩 3分

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1. 開会 | 15:00 |
| 2. 挨拶 | 15:00－15:20 |
| ■ 民間事業者代表挨拶：タイズスタイル代表取締役 | 吉田学 |
| ■ 福島県商工労働部次世代産業課 課長 | 植田隆太 |
| ■ エネルギーエージェンシーふくしま 代表 | 坂西欣也 |
| 3. 本WGの概要説明 | 15:20－15:30 |
| 4. 参加者自己紹介 | 15:30－15:50 |
| 5. ソルガムペレット研究開発計画説明 | 15:50－16:05 |
| ■ 相双事業開発 執行役員 | 金子健太郎 |
| 6. 質疑応答 | 16:05－16:20 |
| 7. 本WGの今後の計画、次回予定 | 16:20－16:30 |
| 8. 閉会 | 計90分 |
| 9. 記念写真撮影 | |

*なお、当日はオンラインでも同時開催いたします。アクセス情報は別途事務局よりご案内いたします。

*同日 13 時より、「小さな水素社会 WG」を同じ会場で行っています。こちらもご参加可能です。

【本件のお問い合わせ先】 バイオマスペレット産業化 WG 事務局 03-4226-3222（佐藤、川口）

農業由来バイオマスペレット産業化ワーキンググループ

背景 日本の木質ペレット年間利用量約 600 万トンのうち 98%を海外輸入に依存する現状では、円安に伴う燃料価格高騰や供給不安定が深刻な課題です。一方で、高コストな国産木質ペレットでの代替も容易ではありません。

こうした中、福島県双葉郡に広がる広大な休耕地の有効活用と再生は地域復興の急務です。この地で、比較的生育しやすく収穫量の多いソルガムを大規模栽培し、地産地消型のバイオマスペレットとして実用化することで、エネルギーの国産化に貢献できます。本プロジェクトは、休耕地問題を解決すると同時に、浜通り地域に強く持続可能な新産業を創造することを目指しています。

活動目的 地産地消を前提とした循環型再生可能エネルギーによる、浜通り地域を中心とした大規模ソルガム生産と、発電所要求水準を満たすペレット製品化を統合した、浜通り独自の新産業創造およびその事業化

～ 5つの WG アジェンダ ～

1. 高品質安価なソルガムペレット量産化研究開発
2. 浜通り地域における大規模ソルガム生産計画
3. 発電事業者の要求水準調査、定義
4. ソルガムペレットの販売体制構築
5. 地元 JV の創設